

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・伊藤	写真・後藤、北村
山行番. NO. 2033		
日時	2023年09月02日(土) 晴れ・暑い	
山域	西丹沢・上の権現山(権現山、1138m) 北東尾根	
コース	長泉 6:00-西丹沢ビジターセンター-8:06-西沢-権現岳北尾根(杣道) 8:55-北のコル 10:00-上の権現山 10:30~11:24-北東尾根-西沢-ビジターセンター-12:59-「ぶなの湯」 -丹沢湖畔-長泉 17:00(反省会)	
標高差	上・下り ビジターセンター約550m~上の権現山1138m=約588m	
難易度	非常に困難 困難 レやや困難(北東尾根) 普通 やや易しい 易しい	
バリエーション地図読みとタマゴダケ		
参加者	後藤、伊藤、山田敬、北村、松永=5名	

長泉を朝6:00出発。旧246号を北に向かい、神奈川県の中川温泉入り口を左折しました。トイレ休憩した「道の駅」の頭上には、新東名の空中工事現場があり、「人間って凄いな」と思わずにいられませんでした。

丹沢湖の大橋を渡って行くと、集中豪雨の土砂災害から村人を助けたという、樹齢2000年の「箒杉」を正面に見て、「わぁ！！凄い」と、昨日のTV番組を思い出し、立派な雄姿を確認しました。

そして、西丹沢自然教室(ビジターセンター)の駐車場に着きました。



ビジターセンター



吊り橋

今回の山行は、「ハイキングリーダー養成」と「バリエーション地図読み」の目的で、それはここから始まりました。

自然教室を横切ると、すぐ大きな吊り橋があり、渡って河原に出ました。さて、キョロキョロしましたが、道がありません。

左手の見にくい所に堰堤を上るための階段があり、上の河原に行くという道でした。沢の水はとても綺麗でしたが、流れが手作り木の橋がある所は助かったけど、石を飛び渡ら



撮影・北村

なければいけない所は大変です。私はストックを持っていたので良かったけど、たまたま、そこで会った女性三人の滝見学(下棚・しもんたな)は、大変そうでした。「どうしたかな？」と少し心配でした。

前進し二つ目の堰堤や木の橋を十本位渡った時、やっと山への分岐に着きました。沢を渡る緊張と暑さで、喉はカラカラでした。



杉道(そまみち)

やっと、ここから左手の山への登山開始です。比較的緩やかだったり、急だったりして、歩いていたら、「タマゴダケ！」という声に「え！もう？」と半信半疑で「ハアハア」していたら、また、「あつた！」という声。

ありました。あつたけど、何と綺麗というか、毒々しいというか、まるで、「道しるべ」



タマゴダケ

のようなハッキリとした、「タマゴダケ」でした。それをそっと丁寧に採取した。ここから、いい感じの尾根をしばらく上ると「北のコル」と呼ばれる場所がありました。

地図上でここはどの位置か？標高はどのくらいか？と聞かれ、恐る恐る口に出してみました。何とか合っていましたが、まだまだ、勉強が足りません。

そこから、少し畦ヶ丸方面に戻り、山肌を見ると木々が赤茶けていました。これは「ナラ枯れ」と呼ばれ、「カシノナガキクイムシ」に起因する木の病気だそうです。

<https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/ringyose/seikbyotyuu/documents/ibarakikennonaragarenituite.pdf>



立派！



(北村)

コルから急な山道を上ります。途中でYさんが、今回一番の「タマゴダケ」を探しました。これはとても美味しそうでした。丁寧に大事に採取しました。

急に平坦になり、山頂に着きました。南西に展望が開け、眼下に丹沢湖とそれに注ぐ川と、通って来た道路が良く見え感動しました。中ほどには、大野山の草地の平らな山頂の緑が綺麗でした。



左・箱根連山、右・愛鷹連峰（北村）

少し早い10:30でしたが、昼食となりました。すると40歳位の男性が一人で上って来て、

「初めて来た、いい所ですね」と言葉を交わした。

私たちの後方で、休んでいるようでした。下山しようとしたら、その方も立ち上がり、



山頂

元の道を帰るかなと思ったら、私達が行こうとする同じ方向に行きました。一人で来るくらいだから、大丈夫なんでしょうね。

私たち女性は、借りたヘルメットを被り、リュックも軽くなり、時間も早いのでルンルン気分であらいたら、バリエーションの分岐に来た。



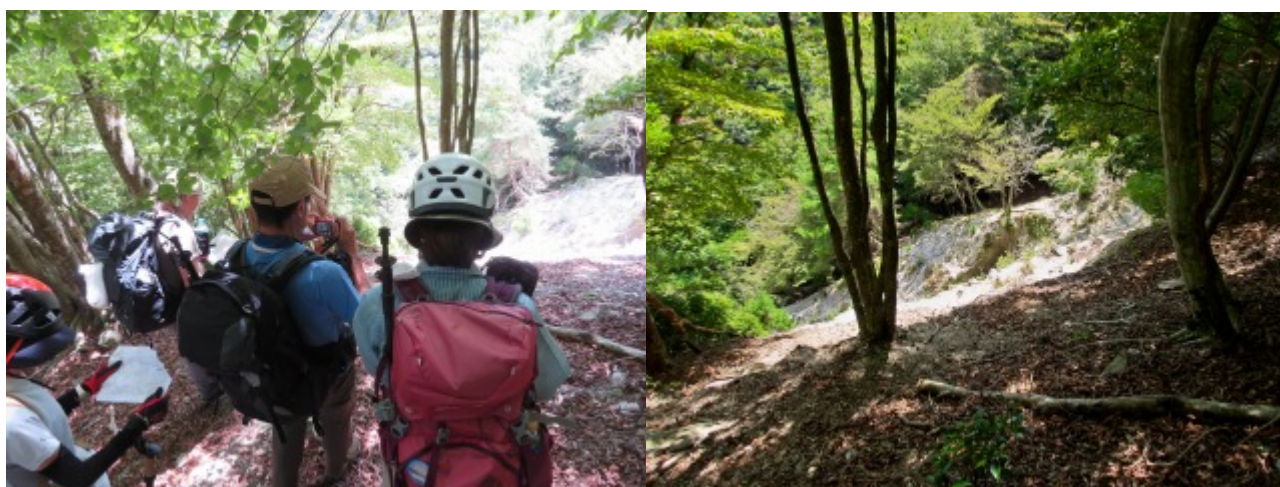
北東尾根上部

いくつかの尾根があり、どの尾根を下ったらいいのか？一つ間違えると思った所に出ないという怖さがあります。

右往左往していると、リーダーが、「そっと」教えてくれました。細い木に古いテープが巻いてありました。「良かった。地図読みが出来ないと、本当に一人ではダメだ」と思いました。

尾根は急でガンガン下りと、なかなか大変だった。足元がヨロヨロしかかった所に、またもタマゴダケがポコンと出ていました。思わず手に取りました。見回すと幾つか出ていました。

途中に、大きな「ガレ」がありました。Kさんが地図を見て、「ガレのマーク」があると、教えてくれました。地図に出ているように、大きな「ガレ」でした。地図は、様々な記号が使われ、形を表していると学びました。



大きなガレ

引き続きガンガン降りて、小沢を渡ったら、突然、西沢に出ました。先に今朝の堰堤と吊り橋があり、「えっ！」という感じで、ビジターセンターに到着しました。

「ぶなの湯」で汗を流し、外に出て下の方で声がするので見たら、川遊びの子供たちが、ワンサカいました。

丹沢湖に下る前、左に折れると駐車場の様な広い場所で「直会」です。リーダーの農園



の美味しい野菜と現地調達「タマゴダケ」をフライパンで炒めました。「美味しかった」
長泉に 17:00 頃、無事到着。皆さま、有難う御座いました。



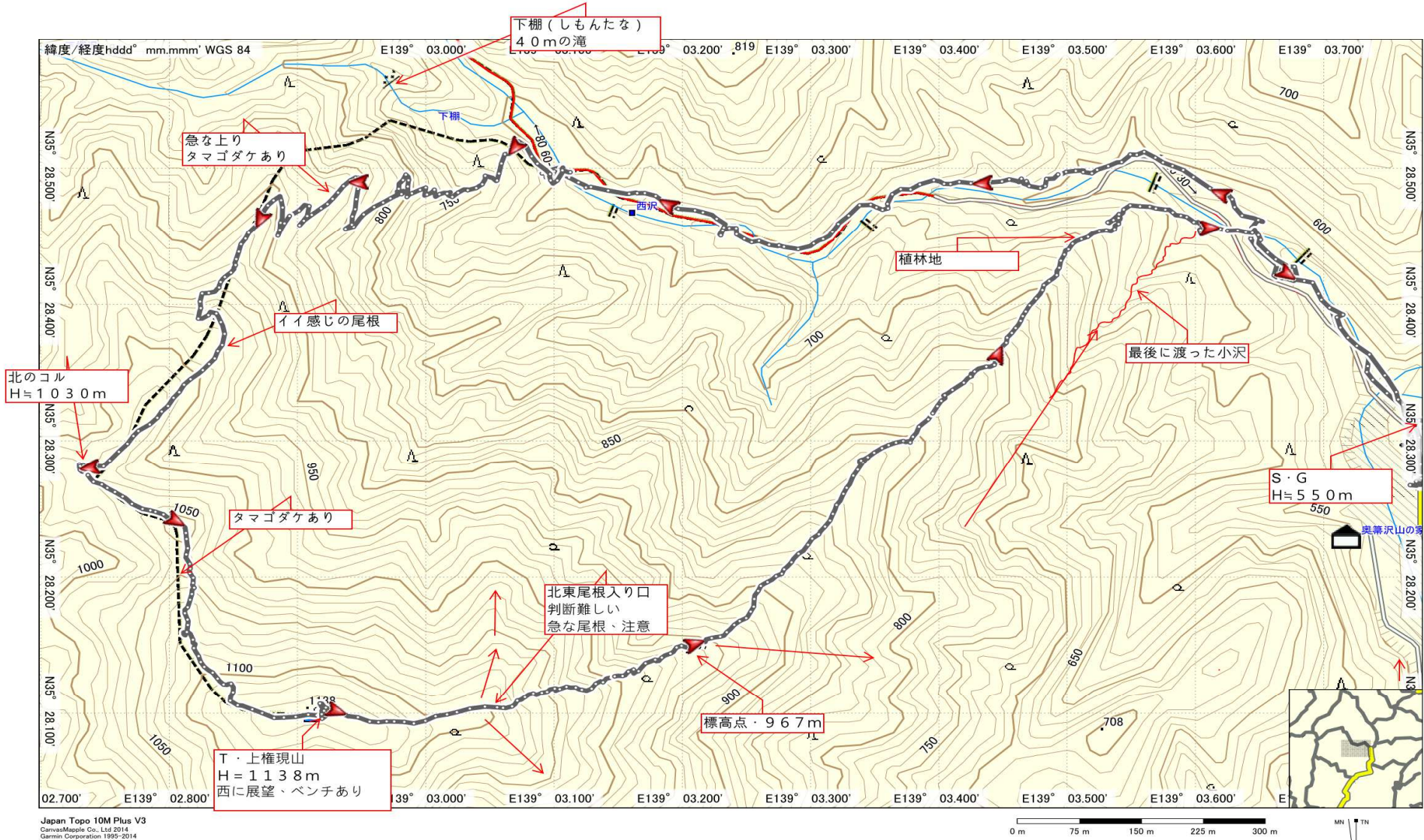
美味しいタマゴダケ



山頂



(北村)



Japan Topo 10M Plus V3
 Carivast/Maple Co., Ltd 2014
 Garmin Corporation 1995-2014

2023/09/03 6:12:02

GARMIN

